

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上 332 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html
指定期間		平成 30 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況等について

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開館等日数(日)	265	267	268	251	185
延べ利用者数 必須事業(人)	3,118	3,020	3,249	2,985	2,245
前年度比(人)	△1	△98	229	△264	△740
前年度比(%)	100.0%	96.9%	107.6%	91.9%	75.2%
延べ利用者数 自主事業(人)	2,708	3,101	3,588	3,188	1,829
前年度比(人)	583	393	487	△400	△1,359
前年度比(%)	127.4%	114.5%	115.7%	88.9%	57.4%
利用料金 合計 必須事業(千円)	2,726	2,622	2,802	2,537	1,908
前年度比(千円)	7	△104	180	△265	△629
前年度比(%)	100.3%	96.2%	106.9%	90.5%	75.2%
利用料金 合計 自主事業(千円)	1,597	1,781	2,104	1,917	1,080
前年度比(千円)	347	184	323	△187	△837
前年度比(%)	127.8%	111.5%	118.1%	91.1%	56.3%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
収 入	指定管理料	13,307	13,397	13,420	13,567	13,420
	利用料金収入	2,726	2,622	2,802	2,537	1,908
	自主事業収入	1,597	1,781	2,104	1,917	1,080
	その他の収入	0	0	0	0	644
	収入計	17,629	17,800	18,325	18,021	17,052
支 出	人件費	10,823	10,692	11,759	11,820	11,028
	維持管理経費	4,457	4,609	4,648	4,721	4,156
	自主事業関係経費	1,062	1,336	620	450	667
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,342	16,636	17,028	16,991	15,850
収支(収入-支出)		1,288	1,164	1,298	1,030	1,202

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
開戸センターでは毎年アンケートを実施し、個別面談は年2回行っています。利用者の意見を取り入れながら活動プログラムの作成をしています。また満足度の向上にも努め、信頼の持てるセンターを目指しています。アンケート箱の設置も引き続き行っています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
四季を通じてセンター内の温度調整や居心地が良く、利用日が待ち遠しいと言う声が多数あります。また、人の出入りも多く、賑やかで活気に溢れていて楽しそうだという声も聴かれました。挨拶にも注意しています。また、利用者からの要望で祝日の「書道」講座の開催も始め、好評をいただいています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
祝日の振り替え利用の勧めで、外出機会の増加や生きがいくりの手助けになればと思い実施しています。昨年に引き続き、ボランティア対象の「活動介護スタンプ」も実施し大変喜ばれています。利用者のロコミや地域包括支援センター、市役所などのお力をいただきながら周知活動を行っています。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
こまめな温度調整はもちろん、節電、節水も心がけました。活動では、不要になりご寄付をいただいた着物や布地などを活用した「リボンスカーフ」、「布ブローチ」の作成など喜ばれました。また、在庫管理の徹底も行い、無駄を無くす努力をして経費削減につなげました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業については、健康維持体操の強化や脳トレ体操を取り入れた結果、介護申請の移行による退所が減少しました。また、祝日の振り替え利用も喜ばれています。コロナ禍により外出機会の減少している利用者にとって楽しみの一つになっています。センターの需要の高まりや活動内容の充実など、ロコミや予定表の配布による新規利用者の増加がみられます。 自主事業については、コロナ禍による自粛や講師の意向で参加人数の減少がみられますが、新講座の立ち上げにより講座数は増加傾向にあります。参加者の声や要望を大切に満足していただける講座開設を心がけています。引き続き、感染予防対策の徹底を行い、安心して参加していただけるセンターを目指します。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
個人面談、意見箱の設置やアンケートによるニーズ調査を行い、人気講座を祝日などに開催している点は評価できます。また、健康維持や脳トレ体操を取り入れることで、介護申請に移行する利用者の減少につながっています。引き続き、利用者のニーズに合った活動で利用者の増加を図り、市民サービスの向上に努めてください。	
経費削減の取組	
日頃から節電・節水を心がけ、こまめにエアコンの温度調整を行うなど、節減に取り組んでいることは評価できます。また、在庫管理の徹底やリサイクル品を活用することで、経費の節減につなげていますので、引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ、経費削減に取り組んでください。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、延べ利用者数は減少したものの、活動内容の充実で新規利用者の増加につながっています。また、コロナ禍による活動の制限がされる中、感染防止対策を徹底し、ニーズに応えた新たな講座を増やすことで、利用機会の増加が図られています。 コロナ禍による利用者離れを最小限に抑えるため、引き続き、既存利用者の継続、新規利用者の獲得を目指し、ニーズに応えた講座の提供、さらに広く周知を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。	
総合評価	A

※評価基準

S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管

理業務を行っている。

- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。